

放課後子ども教室

－井田児童育成センターを始め24クラブとの連携型－

【連携型の概要及び特徴的なこと・工夫していること】

- ・ 子ども教室の場所は昭和60年代から本市が独自に整備してきた「こどもの家」を活用しており、児童クラブを同一敷地内または近隣に整備することで、連携して実施している。
- ・ 児童クラブの児童は、支援員の見守りの元、まとまって子ども教室に移動し、子ども教室に参加する他の児童と一緒に活動することができる。
- ・ 児童クラブ以外の児童は、帰宅後自由に参加できる他、小学校との協議及び事前登録を経て下校先として直接参加することもできる。

【プログラム内容】

- ・ 学習や体を動かす遊びなど自主的な活動を基本に、地域の多様な経験や技能を持つ人材との交流活動を実施する。

【成果】

- ・ 児童クラブを利用する児童が子ども教室に参加することで、「遊びの場」としての機能を担っている。
- ・ 指導員が常駐する専用施設で実施しているため、安全・安心な放課後の居場所として保護者から信頼されている。



「こどもの家」について

- ・ レクリエーション室 400㎡（バレーボール1面）
- ・ 造形図書室 30㎡

※平成29年度は33学区で子ども教室を実施しており、うち学区内に児童クラブが設置されている24学区で連携実施している。

【課題等】

- ・ 地域人材の参加が伸び悩んでおり、児童の自主的な活動が中心となっている。
- ・ 一部の学区で、利用児童数が多いことから安全のため活動内容を制限せざるを得ない状況となっている。

【開催状況】 平日下校後～
18時又は19時
土曜・長期休業日等
8時又は10時
～18時又は19時

【活動場所】 こどもの家

【参加人数】 平均49人
(全学区平均)

【指導員数】 1日あたり2人

【委託有無】 無